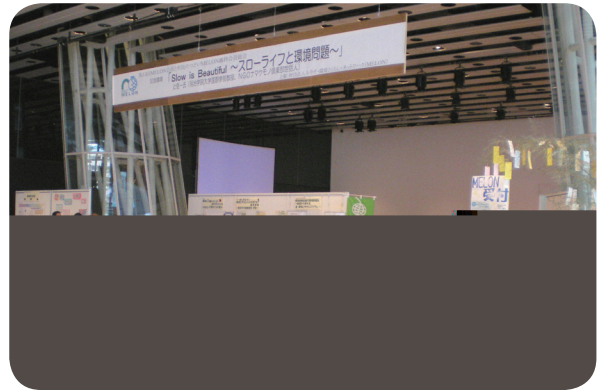


第 13 回 MELON 会員と市民のつどい開催報告

6月14日(土) せんだいメディアテーク1F オープンスクエアにおいて「第13回 MELON 会員と市民のつどい」を開催しました。皆さんご存じのとおり、平成20年岩手・宮城内陸地震が発生した日でもあります。この影響で辻信一氏(明治学院大学教授・NGO「ナマケモノ倶楽部」世話人)が来仙できず、やむなく記念講演は中止としました。

MELON 維持会員総会は予定どおり開催し、会場では宮城教育大学環境教育実践研究センターによる環境教育教材の展示や宮城県森林インストラクター協会の皆さんが指導するネイチャークラフト体験、環境省・宮城県・仙台市のブース出展があり、約100名の方にご来場いただきました。お越しいただいた皆さん、ご協力いただいたボランティアの皆さん、本当にありがとうございました！



講演は中止となりましたが、著書を買いたい方も、辻信一氏の図書は事務局で貸し出しをしています。

辻信一氏からメッセージをいただきました

※会員と市民のつどい開催直後にいただいたものです。



辻信一です。この前は、皆さんとお会いできなくなって残念でした。その後、お元気でお過ごしですか。

北海道洞爺湖で、厳重な警戒態勢の中、「G8 サミット」が、開催されようとしています。それを思うと、ぼくの心は梅雨空のよう。だって、G8、つまり世界で最も「豊かな」8つの先進国とは、地球温暖化をはじめとする現在の世界の危機的な状況について、最も責任の重い国々だから。G8のGはGREEDY(グリーディ=貪欲な)の頭文字ではないかと思いたくなります。そんな国々の首脳が集まって、これからの世界の行方を決めてくれる? これって、ありがたいことですか。それよりは、世界中から、最も幸せな8つの国、「H8」を選んで、そのリーダーたちに集まってもらい、これからの世界を

どうすればもっと幸せにできるかを話し合ってもらった方がいいでしょう。

でも、それよりさらに大事なものは、ぼくたち一人ひとりがあらためて、これまで世界中の国々が追い求めてきた「豊かさ」を問い直し、「あれっ、幸せって、なんだっけ?」と自問してみることではないでしょうか。

ぼくの周りは今、ちょっとしたGNHブームです。GNHとは、ヒマラヤの小国ブータンの国王がGNP(国民総生産)をもじってつくった「国民総幸福」という考え方です。ぼくが務める大学に「GNH研究会」をつくりました。皆さんの地域、職場、家庭でも、GNH研究会をおひとついかがですか? そして、これまでの「豊かさの経済」に代わるべき「幸せの経済」を地域からつくっていきましょう。

皆さんにお会いできる日を楽しみにしています。